

発行

社会福祉法人 射水福祉会 いみず苑・いみず苑保護者会

〒933-0252 富山県射水市七美727 TEL 0766-86-1126 FAX 0766-86-1136 http://www.imizuen.jp/

第27回 しつみずを納済祭

納涼祭にお越しいただいた方々に 一言インタビューをしました!



バンド演奏 (職員バンド)

久しぶりに元気な利用 者さん方と一緒に踊るこ とができました。皆さ ん嬉しそうに踊っておら れ、楽しかったです!

のじた輪踊り (のじた保存会の皆さん) (七美のじた踊りを守る会の皆さん)



吹奏楽演奏 (とやママおん 久しぶりにお客 さんの顔が見える 演奏ができまし た。とっても楽し かったです!

チャリティーバザー (新湊ライオンズクラブの皆さん)

長くいみず苑の納涼祭 に来ています。4年ぶり の開催で、前回よりたく さんの人が来てほしい し、大いに盛り上がって ほしいです!

釣会長より チャリティー バザーの収益 金をご寄贈い ただきました







これだけ盛り上がると 思っていなかったです。 ボランティアとしてきて いますが、すごく楽しま せてもらっています。

8月19日、4年ぶりに苑納涼祭を開催しました。ステージでは、元気な七美チビッコ みこしから始まり、職員バンドの演奏や吹奏楽、のじた輪踊り、よさこい演舞など、会場は大いに盛り 上がりました。また、ボランティアや保護者の皆さんには夜店などにご協力いただきました。大変あり がとうございました。当日は大変暑い日でしたが、地域や久しぶりに顔を合わせる方々にたくさんお越 しいただきました。利用者、保護者、地域の皆さんとの絆を改めて感じることができ、心に残るひと夏 の思い出となりました。

すごく盛大で、4年ぶりに 戻って来た納涼祭がすごく楽し くて、みんなの笑顔もあって、 どっこいしょもみんなで踊れて



4年ぶりの開催ですね! いつ納涼祭開催されるか 心待ちにしていました。



4年ぶりの納涼祭、ずっと来た かったです。コロナが空けて賑わ いが戻ってきました。日常が戻っ てきて、なおかつそれに上乗せし て、みんなでにぎやかに生きてい けたらいいなと思います。





どっこいしょ!

やっぱり納涼祭 があったらいいな と感じます。地域 の人も嬉しいし、 地域も盛り上がり ます。これからも 続けていってほし いです。



利用者さん、保護者さん、地域の方々に たくさん来ていただきました! ご来場ありがとうございました。



ご芳志ありがとうございました -

七美連合自治会、射水市手をつなぐ育成会、分家静男、㈱四方組、㈱フジノ電設工業、八嶋合名会社、㈱テクノシステム、堺進 中川由紀子、亀谷美智子、七美社会福祉協議会、七美老人クラブ、クレハ事務機販売㈱、射水市長、七美ことぶき苑 新湊ボランティア連絡協議会、㈱フロール・ライフクリエート、大島赤十字奉仕団、澤田鶏肉専門店、新湊ライオンズクラブ

(順不同・敬称略)

突顔の輪をつなげよう!

第3回は、「ひびき愛」です。日中活動の

ひびき愛田時動

ひびき愛は、創作療育班、受注創作班、リサイクル班の3つに分かれて活動しています。一人 ひとりの特性を活かし、それぞれが生き生きと過ごせる場を目指して、活動を行っています。み んなの個性がひびき合うような場所を目指して、日々支援しています。

1日のタイムスケジュール

検温、トイレ 8:30

き等分担して、清掃 しています。

棟内清掃、食堂清掃

温浴活動、マッサージ、歩行活動

AM活動

個別課題、リサイクル活動

お茶休憩、トイレ

11:30 昼食、歯磨き、トイレ、休憩 輪投げやツールなどを 用いて歩行をしたり、 身体を動かしたりして

缶やペットボトルのプレス、 ペットボトルのラベルキャッ プを外す等、エネルギッシュ に活動しています。

歩行活動、マッサージ、温浴活動

PM活動

ドライブ、入浴

個別課題

余暇

お茶休憩、トイレ

それぞれ課題があり、その人 の持っている力が発揮できる ように配慮しています。

温浴で心と体を リフレッシュして います。

15:30

いみず苑の事業所紹介

D様子、施設入所支援の様子を紹介します。

施設入所支援

食事や歯磨き、入浴など利用者の皆さんが心地よい生活を送ることができるよう支援を行って います。健康で安心・安全な生活を送ることを基本とし、明るい気持ちが満ち溢れる日々になる ことを目指しています。職員も利用者と共に楽しみながら生き生きと生活する場となっています。

\余暇の充実を目指しています/



毎週日曜日に開催中!みんなで集まって コーヒーを飲んでいます♪ 楽しいひと時~



地域の公園などにお散歩に出かけています。





コラム ~令和4年度入所棟居室(つき1、とり4、はな5)改修~

経年による劣化に対応するとともに、利用者 の重度高齢化による居室内での転倒防止やス ムーズな車椅子移動が可能となるよう居室環境 を見直しました。





研修報告

北陸地区知的障害者関係施設研究大会に参加して



入所支援課・生活支援員 竹元 克広

今大会は、北陸地区知的障害者福祉協会の主催により、北陸地区の知的 障害関係施設職員が集い、テーマ別分科会に分かれ知的障害者福祉につい ての研究協議、親睦の促進を目的として、新潟県長岡市において開催され ました。

私は「Withコロナ×福祉」の分科会に参加しました。新型コロナウイル ス感染症により、世の中が大きく変化し、生活様式を変えることを余儀な くされ、当法人においてもクラスターに見舞われるなど福祉施設にも大き な影響を与えました。今回の分科会では、「障害者施設のコロナ禍における

対応や取り組みについて」の発表を拝聴し、意見交換を行いました。

発表の中で、「集団での活動から個々への関わりへ」とコロナ禍での入所施設における集団活動 重視から個々の生活に焦点を当てた話がありました。特に「少人数での外出や外食をイベントで はなく日常生活に取り入れたことにより、個々の意思や意見が汲み取りやすくなり、意思決定支 援の入口が見えて、職員や利用者もやればできるという成功体験を積み重ねられた」との話が印 象に残っています。

入所施設の利用者の方々は限られた空間の中で、特にコロナ禍においては行事や帰省の自粛や 中止、外出する機会も制限され、大きなストレスを抱えられていたと推察できます。地域社会や 人との関わりも希薄になり、その中で得られる心地よさを感じられる機会を作ることも難しい状 況になっていました。これからはコロナに委縮せず利用者一人ひとりが主体的に選択し、地域社 会と関わりを持てる環境作りができればと感じました。また、集団生活や活動の中でも一人ひと りの個性に着目し、それぞれに適した支援が必要です。私は、これからも利用者主体で個性を尊 重しながら、想いや意思を汲み取れるように、伝える工夫、受け取る感受性を豊かにして、意思 確認を丁寧に行う支援に励みたいと思います。



①入社年 ②趣味 ③特技 ④仕事で楽しい、嬉しいと感じる時 ⑤いみず苑の好きな所 ⑥皆さんに一言!



- ①2016年(平成28年)
- ②絵を描くこと、動画鑑賞
- ③1辺が1cmの紙で小さな鶴を折れる
- ④利用者さんとの関わりの中で笑顔が見られた時や新し い一面を見られた時
- ⑤職員同士の仲が良く、和気あいあいとした雰囲気が あるところ
- ⑥みなさんに楽しく過ごしてもらえるように、明るく 元気にこれからも頑張ります!



- ①2022年(令和4年)
- ②音楽を聞くこと
- ③すぐに寝られること
- ④食事が「美味しかった」と言ってもらえた時
- ⑤職員さんが皆明るく、面白いところ
- ⑥これからも美味しい食事を提供できるよう、 頑張ります!

保護者のつどい

「英和といみず苑の日々」

英和が養護学校(支援学校)高等部を卒業し てから16年間が経ちます。養護学校の12年間を 長いと思っていたのに、いつの間にかいみず苑 に通う日々の方が長くなりました。

今は「ひだまり」に通っていますが、通う場 所が変わっても職員さんが変わっても、毎日い そいそと通っているのをうれしく思います。英 和は、こだわりがあったり、排泄の失敗があっ たり、パニックを起こすこともあるのに、本人 の特徴を細かく申し送りしてくださっているよ うでありがたいです。毎日当たり前のように通 えるのは職員の皆様が優しくしてくださるから だと思います。

英和は、「ひだまり」がお休みの日はどこか に連れていけとアピールしています。

18歳の頃は細かった英和ですが、いつの間に かむっちり太めに。でも外出を嫌がるようなこ とはありません。買い物についていくだけでも いいのです。テーマパークもドライブも山歩き も大好きです。

テーマパークは、特にディズニーが好きで す。ドライブは遠いところでは伊勢神宮まで行 きました。

山崎 英子 さん

最近は、山に連 れていく私の体調 が思わしくなくて、 立山室堂近辺が精一 杯ですが、以前はいろ いろ行きました。一番



山﨑 英和 さん

きついところでは白山の日帰り登山を何度か。 ただ楽しそうに歩く英和は最高の連れです。

> この先の不安もあり ますが、今は英和が穏 やかに生活できるリズ ムを守っていけたらと 思っています。これか らもどうぞよろしくお 願いします。









「射水市手をつなぐ育成会」の親子研修があり、いしかわ動物園とコマツの杜に行きました。いみず苑からも多くの方 が参加され、楽しいひと時を過ごしました。

あ(10名)の 人強信

相談支援専門員 横田さんのある 1日に密着!!!

午 前 訪問、面談

書類作成

利用者さんや家族の状況に 応じて電話やオンライン等 でも対応しています

電話対応



まだまだ力不足なところもあると 思いますが、たくさんの人に支え てもらいながら、皆さんと一緒に 将来のことを考え、今後のことを サポートできたらと思っています。

午

後

資料準備

部会の準備等の業務も しています

相談支援部会

記録

様々な関係機関の集まる場で 事例検討や研修をしています



あいネットいみず (射水市障害者地域活動支援センター)

あいネットいみずでは、障害(身体・知的・精神)のある方やその関係者の方々の相談に応じ、必要な情報を提供します。

•••••• あいネットいみず(射水市七美727 いみず苑内) ••••••

専用TEL (0766)86-8522 FAX 86-8530 Eメール info@inet-imizu.jp ホームページ http://www.inet-imizu.jp

ボランティア ありがとうございました

- ●新湊理容師会(理髪)
- ●訪問理美容サービス「フロール | (美容)
- ●大島赤十字奉仕団(シーツ交換)
- ●新湊ボランティア連絡協議会 塚原地区·放生津地区·新湊地区 作道地区・片口地区・堀岡地区 本江地区 のみなさん (シーツ交換)

(順不同・敬称略)

ご寄付・ご寄贈 ありがとうございました

- (株)四方組
- 一般社団法人富山県食品産業協会
- ㈱フジノ電設工業
- 防災電設㈱
- 農事組合法人 下村三筒

(順不同・敬称略)

苑の行事予定

令和5年9月現在

111 第27回いみず苑祭

(12日日)

12 ボランティア感謝祭 もちつき大会

二十歳を祝う会

編集後記

4年ぶりに開催された納涼祭では久しぶりにのじた音頭の音色が響きわたりました。保存会の方に伺ったところ、のじ た音頭は鎌倉時代の念仏踊りが起源とされ、「野地田」とも書くそうです。私たちのご先祖様が、この野や地や田に祈りと 感謝を込めて踊りつないできたのではないでしょうか。800年の時を超え、踊りつないだのじた輪踊り。利用者や保護者、 職員、地域の人達が大きな輪となり笑顔で踊る姿が印象的でした。この人と人とのつながりの輪が、いつまでも途切れぬよ う祈りを込めました。 (眞田章太郎 記)